

柳井電機工業株式会社 様

営業活動報告アプリで業務の実態を見える化し、DX推進に貢献

実態把握・分析が可能になり業務の効率化を推進、戦略立案時のデータとしても有効活用

柳井電機工業株式会社は、大分県を中心に電気設備の設計から施工、保守サービスまで請け負うエンジニアリングカンパニー。

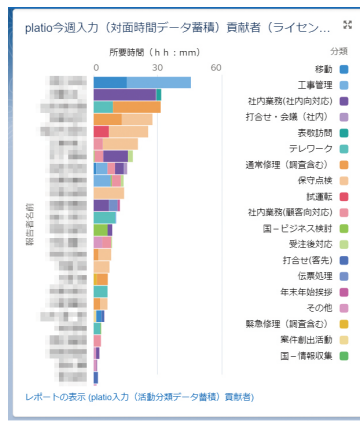
同社ではテレワークなど社員の“働きがい向上”のため、必要な業務を効率的に実施できる環境づくりを目指している。今回の取り組みでは、業務工数に対する意識改革を目的として、営業現場の実態を把握するため、Platioで「営業活動報告アプリ」を作成。アプリで報告された活動内容とSFAの顧客情報を「Warp Core」を使ってデータ連携することで、活動内容と工数の見える化に成功している。

課題・目的	選定ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> 生活様式の変化に対応するために、ITツールを活用して業務のデジタル化を迅速に推進したい 営業の活動実態や工数分析に必要な活動情報を収集・見える化して、業務を効率化できるポイントを模索したい 素早く報告できるツールを活用し、帰社しなくても営業現場で報告をリアルタイムに共有・把握できるようにしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 限られたリソースかつ短期間で、アプリを作成し、迅速にデジタル環境を整えられる デジタルツールにアレルギーがある人でも迷わず簡単に使い、スムーズに運用できる SFAとデータを連携しやすく、入力情報から営業活動を可視化・分析できる 営業が親身に相談に乗ってくれ、安心して導入できると感じた 	<ul style="list-style-type: none"> 営業活動報告アプリを3日で作成、データ連携ツールを活用したSFAとの連携も3日で完了。最小限の工数でデジタル化を推進できた 営業活動データの蓄積により活動の実態や工数が可視化され、分析や改善を促進、工数の意識改革にもつながった 80名の営業担当者が現場からワンタップで項目を入力でき、リアルタイムに活動状況を把握。報告時間も短縮した



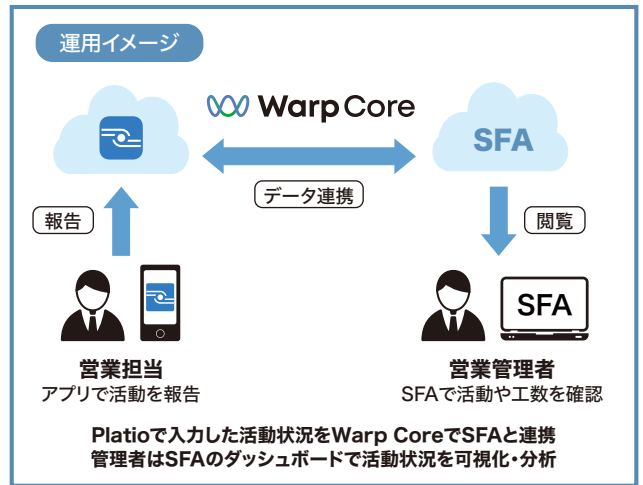
報告画面

ワンタップで業務内容と開始/終了時刻を登録



SFA画面

活動の実態をグラフで見える化



ユーザーのひと言



生活様式の変化に応じて、デジタルツールの導入にアレルギーのあるメンバーでもデジタル推進への意識が高まっていたことに加え、Platioは既存ツールよりも簡単に活動状況を入力できたので、現場の負担なく運用を開始できました。今回の取り組みを通じて社員が各々の業務の在り方を見直し、本当に意味のある仕事を心がけるようになれば、働きがいの向上にもつながります。今後は営業メンバーにとどまらず、利用範囲を広げ活用するとともに、活動データを戦略立案にも活用し、DXを通じて他社にない付加価値の提供につなげたいと考えています。

柳井電機工業株式会社 社会ソリューション部 社会システムグループ兼水事業推進グループ
グループリーダー 工藤 賢太郎 氏

User Profile



所在地：大分県中津市二丁目7番1号
 会社概要：生活に必要な不可欠なライフライン、工場の生産設備、環境にやさしいエネルギー。それらを支える社会インフラ・プラント・空調・ロボットSI・ドローン画像解析を軸に、『安心して過ごせる幸せ』を提供している。
 従業員数：157人(2020年12月時点)
 導入時期：2020年10月
 URL：https://www.yanaidenki.co.jp/